

2024年度 活動報告書

(2024年4月～2025年3月)



公益社団法人
全日本アーチェリー連盟

第33回オリンピック競技大会 2024 Paris



【2024 パリオリンピック】

第33回オリンピック・パリ大会のアーチェリー競技が、7月25日～8月4日、パリ中心部の「アンヴァリッド」で開催され、4名の選手が出場しました。男子団体で日本は8位で予選を通過し、初戦でメキシコを5-1で下して準々決勝に進出しましたが、韓国にストレート負けを喫し8位でした。混合団体では、トルコにシュートオフの末に勝利し、準々決勝ではアメリカを相手に互角の戦いを見せたものの、僅差で準決勝に進むことはできませんでしたが、5位入賞を果たしました。

最終成績

- 男子個人 中西 絢哉 17位、齊藤 史弥 17位、古川 高晴 33位
- 女子個人 野田 紗月 9位
- 男子団体 8位入賞 (古川 高晴、中西 絢哉、齊藤 史弥)
- 混合団体 5位入賞 (野田 紗月、中西 絢哉)

コーチングスタッフ

- 監督 河合 徳之
- コーチ 金 相勲
- コーチ 松木 裕二
- トレーナー 岡本 龍児

全国からの熱い応援、ありがとうございました。



パリ大会に向けた広報活動

【日本代表 パリに向けた公開練習・記者会見】

4月中旬、ナショナルトレーニングセンターにおいて、報道機関を対象に、日本代表チームの練習公開と記者会見を行いました。

公開練習ではゲーム形式の団体戦で女子チームが満点を出すなどチーム力の高さを緒アピールしました。記者会見には50社を超えるメディアの方々にお越しいただき、オリンピックの注目の高さをあらためて実感しました。

会見では、6大会連続出場となった古川高晴選手が、メダルへの意気込みを語りました。



【日本代表特設ページ公開】

7月には、パリをイメージする背景と代表選手たちが自ら掲げたスローガン「熱勝！」を鮮やかにデザインした日本代表特設ページ「熱勝！」を開設しました。

パリに向けた意気込みや、チームの動向、大会期間中は試合ごとに結果をアップし、選手たちの活躍を伝え続けました。

ワールドカップ・アジアカップでメダルラッシュ



【ワールドカップ、アジアカップ】

日本代表チームは、オリンピックまでにワールドカップ3大会、アジアカップ1大会に参戦し、各選手がメダルを獲得しました。

5月に韓国・イェジョンで開催されたワールドカップ第2戦では、中西絢哉選手と上原瑠果選手が男女混合で銀メダルを獲得。

6月には韓国・スウォンで開催されたアジアカップで、男子団体と女子団体に銀メダルを獲得、

6月下旬のワールドカップ第3戦（トルコ・アンタルヤ）では、男女混合で古川高晴選手と園田稚選手のペアが金メダル、女子団体に野田紗月選手、園田稚選手、上原瑠果選手が銅メダルを獲得し、さらに、女子個人で園田選手が銀メダルを獲得する活躍を見せました。

その他の国際大会



【世界フィールド選手権】

9月16日～22日、第28回世界フィールドアーチェリー選手権大会が、カナダ北部のラク・ラ・ビッシュで開催されました。個人戦、混合団体は決勝トーナメントに進出することができませんでしたが、女子団体は予選8位でトーナメントに駒を進めました。女子3選手は国際大会初出場で、世界のレベルを肌で感じる貴重な大会となりました。



【ワールドカップファイナル】

2024年10月19日～10月20日 メキシコ・トラスカラ

ワールドカップランキング上位者等の8名により、年間チャンピオンを競うワールドカップファイナルに、園田稚選手が、ワールドカップランキング7位で出場しました。

普及・啓発活動



体験イベント【笑顔をつなぐアーチェリー ～Smile with Archery～】

「笑顔をつなぐアーチェリー ～Smile with Archery～ Presented by E N E O S」

7月14日 BumB 東京スポーツ文化館（東京都江東区・夢の島公園内）

2021年から数えて4回目となった今回、午前・午後あわせて100名の方が参加してくださり、招待選手の岸塚美樹（旧姓中村）選手、坂野太一選手、園田稚選手らとともに、実射体験やワークショップをして楽しみました。参加された方々からは、楽しかった、アーチェリーを続けてみたいという声が多数寄せられました。

この事業は、JOC-NF オプションプログラムとして、株式会社E N E O S様のご協賛をいただき実施いたしました。



普及・啓発活動

【ジュニアのためのハイパフォーマンスクリニック】

9月14日、つま恋リゾート彩の郷・カンファレンスセンター

指導者・保護者向け講座では、早稲田大学ラグビー部の津金崇仁コーチを講師にお招きし、「脱勝利至上主義」をテーマにお話をいただきました。

小学生向けと中学生向けの講座では、本連盟の金相勲コーチと岡本龍児トレーナーが、目標の持ち方やパフォーマンスを高めるコンディショニングのコツを、わかりやすく伝え、子どもたちの興味を引き出していました。



【アンチ・ドーピング/アウトリーチ事業】

スポーツの価値とフェアプレイについて考える機会として、本連盟ではアンチ・ドーピング啓発/アウトリーチ事業を実施しています。2024年度は5つの競技会でブースを設け、選手や指導者の方々に、「真のチャンピオンとは」「スポーツの価値」を寄せ書きしていただき、フェアプレイの大切さを考える機会としました。



第66回全日本ターゲット選手権大会



【全日本ターゲットアーチェリー選手権大会】

10月25日～27日東京・夢の島公園

前年度に引き続き、アーチェリー場のほか、隣接する陸上競技場の特設ステージでベアボウ部門、コンパウンド部門のメダルマッチを、リカーブ部門では1/4ファイナルからゴールドメダルマッチまでを行いました。

各部門の優勝者

- RC男子 高井 将平（学ア連・同志社大学）
- RC女子 安久 詩乃（京都府・堀場製作所）
- CP男子 長友 文哉（奈良県・サニコン）
- CP女子 佐藤 真理子（東京都・内藤義肢製作所）
- BB男子 神谷 典幸（愛知県・宮上製作所）
- BB女子 梅津 昭子（東京都・梅津技建）



YouTubeでのライブ配信・アーカイブ (全日本ターゲット選手権大会)

第66回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会
「熱戦！アーカイブ」



  全日本アーチェリー連盟
公式チャンネルで！

【公式YouTubeチャンネル ～第66回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会～】
第66回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会の様子を、本連盟の公式YouTubeチャンネルで、ライブ配信とアーカイブ化しました。より多くの方々に、全日本ターゲット選手権大会の様子をお楽しみいただいています。

解説

山本悠太さん(渋谷アーチェリー)
吉成 謙(全日本アーチェリー連盟理事)

実況

大庭 荘介アナウンサー



この映像制作・LIVE配信およびアーカイブ化事業は、
スポーツ振興くじ助成金を活用して実施いたしました。

古川 高晴 選手 引退セレモニー



【古川高晴選手の引退セレモニー】

第66回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会の表彰式につづき、今大会をもって現役を引退された古川高晴選手の引退セレモニーを行いました。

はじめに、アスリートを代表して、武藤弘樹選手(東京オリンピックで共に団体銅メダル)が挨拶に立ち、強い日本チームを次の世代がしっかりと受け継いでいく決意を伝えました。

続いて穂苅美奈子さん(元副会長、モントリオールとロス大会出場のオリンピック)が、ご自身が出場した2回のオリンピックでの緊張感をいまでも思い出すなかで、6度もオリンピックに出場し3つのメダルを獲得した古川選手へのリスペクトと、あたたかさに溢れる賛辞を送りました。またジョージ・テクミチョフさんが、日本のオリンピックチームの戦いの歴史を振り返り、これまでの功績を讃えました。

結びに本連盟を代表し、東京2020大会で監督を務めた田中伸周理事長が、長きにわたるナショナルチームでの活躍の労うとともに、所属チームや指導者の方々へ感謝の言葉を述べました。

古川選手からは「このような場を作ってくれたことを嬉しく思います。皆さまから『25年間お疲れさま』と声をかけていただいています。私こそ、これまで支えてくださり応援して下さったすべての方々に感謝を伝えたい。本当にありがとうございました！」と、穏やかな表情でお礼の挨拶をされました。

セレモニーのあと、古川選手と今大会の入賞者を取り囲むように、出場された選手のみなさま、役員・スタッフ全員で記念撮影をおこない、盛大かつ和やかな雰囲気ですべての大会を締めくくりました。

古川高晴選手、長い競技生活、本当にお疲れ様でした。

指導者・審判員の養成

【全国指導者・審判員ルール研修会】

11月30日～12月1日 滋賀県草津市 参加者約50名（集合／オンライン併催）

初日は「審判員基礎・事例研究～審判実務について」の講義と「競技会集計システムlanseo講習」を実際の機材を用いて学習しました。

2日目はTMI総合法律事務所より小塩康祐弁護士をお招きし、コンプライアンス研修「指導者や審判員が守るべきルールについて」ご講演をいただきました。その後、グループに分かれて「安全について～事故事例の検証」をテーマに、ディスカッションを行いました。



【ブロック別指導者講習会 関東ブロック東京大会】

2025年1月10日～11日 東京都港区／江東区 約30名参加

1日目は、日本ラグビーフットボール協会の今田圭太先生による基調講演と、TMI総合法律事務所の安里祐介弁護士から、コンプライアンス研修として、選手指導時、保護者対応時に留意すべきことについて講義をいただきました。

2日目は、ナショナルチームの金相勳コーチによるジュニア期選手の指導方法など幅広いテーマの講習会を行いました。



社会課題への取り組み



【LGBTQ+を学ぶ研修】

1月25日、全日本アーチェリー連盟ではコンプライアンス研修の一環として、理事・監事を対象に「LGBTQ+」を学ぶ研修を行いました。

講師に特定非営利活動法人プライドハウス東京から、女子ラグビーの村上 愛梨さんをお招きし、スポーツのさまざまな現場において全ての人たちがありのままに活躍できる環境と文化の醸成に向けた貴重なお話を伺いました。

参加した役員たちからは、「多様性の時代と言われているが、社会にはさまざまな偏見や差別がまだまだある。今回の研修は本当に良い研修だった。」「ご自身の経験を含めとても踏み込んだ貴重なお話を聴く機会となった。」「LGBTQ+の問題を深く知ることができとても参考になった。本日の学びを今後の自分の振る舞いや心構えに反映していきたい。」「スポーツは社会との繋がりが深いことから、さまざまな課題に向き合うことの大切さを感じた。」などの意見や感想が寄せられ、とても意義深い研修となりました。

アスリート委員会 能登震災アーチェリー復興支援事業



【能登震災アーチェリー復興支援事業】

1月25日(土)と26日(日)に石川県立能登高校体育館にて、全日本アーチェリー連盟アスリート委員会主催の「NOT ALONE TOGETHER FOR NOTO プロジェクト」を開催いたしました。

イベントには能登高校をはじめとした、石川県内の高校生を中心に、多くの方に参加いただきました。

招待選手の園田稚選手と、アスリート委員の武藤弘樹、三ツ山香里によるデモシュートやミニゲーム、シューティングクリニックなど、交流イベントで盛り上がり、アーチェリーを通じて、被災地に笑顔を届けることができました。

開催にあたり、石川県アーチェリー協会の皆さまにもご協力をいただきました。どうもありがとうございました。

イベントの前には能登町役場も訪問し、皆さまからお預かりした募金の報告もいたしました。募金にご協力いただいた皆さまにあらためて感謝申し上げます。

2024年度 決算概要

貸借対照表の概要

	当年度	前年度	増減
資産の部			
流動資産	83,475,881円	72,486,673円	10,989,208円
固定資産	77,838,680円	43,794,000円	34,044,680円
資産合計	161,314,561円	116,280,673円	45,033,888円
負債の部			
流動負債	36,754,415円	36,217,440円	536,975円
固定負債	2,395,800円	0円	2,395,800円
負債合計	39,150,215円	36,217,440円	2,932,775円
正味財産の部			
指定正味財産	1,500,000円	0円	1,500,000円
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(1,500,000円)	(0円)	(1,500,000円)
一般正味財産	120,664,346円	80,063,233円	40,601,113円
(うち基本財産への充当額)	(0円)	(0円)	(0円)
(うち特定資産への充当額)	(71,810,000円)	(42,300,000円)	(29,510,000円)
正味財産合計	122,164,346円	80,063,233円	42,101,113円
負債及び正味財産合計	161,314,561円	116,280,673円	45,033,888円

正味財産増減計算書表の概要

	当年度	前年度	増減
経常収益	230,020,775円	224,821,752円	5,199,023円
経常費用	189,399,229円	189,067,681円	331,548円
当期経常増減額	40,621,546円	35,754,071円	4,867,475円
経常外収益	0円	0円	0円
経常外費用	20,433円	0円	20,433円
当期経常外増減額	-20,433円		
一般正味財産増減額	40,601,113円		
指定正味財産増減額	1,500,000円	0	
正味財産期末残高	122,164,346円	80,063,233円	42,101,113円

正味財産増減計算書表内訳表の概要

	公益目的事業	法人会計	合計
経常収益	186,345,900円	43,674,875円	230,020,775円
経常費用 事業費	158,825,860円		158,825,860円
経常費用 管理費		30,573,369円	30,573,369円
増減計	27,520,040円	13,101,506円	40,621,546円



公益社団法人 全日本アーチェリー連盟

ご支援企業・団体



一般社団法人 国際スポーツ振興協会



安藤証券



近畿大学

KINDAI UNIVERSITY



WIAWIS

W&W

FIVICS

HORIBA

Explore the future



JAPAN AIRLINES

EASTON

W&W Japan

MK III

ARCHERY

LIFENET

KL

SPORTS

ARICO

ARCHERY GROUP

Dynasty



TEAM JAPAN





引退する古川選手を囲んで記念撮影（全日本ターゲット選手権大会）



公益社団法人
全日本アーチェリー連盟

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 707号室
<https://www.archery.or.jp/>

